



田瀬ダムの『水質保全装置』の稼働などを強化します ～ アオコ増殖抑制のため7月14日から ～

田瀬ダムでは、平成11年頃からダム湖において「アオコ」が発生し、その抑制を目的として、平成19年から『水質保全装置(散気式曝気装置:水中に空気を送りダム湖の水を循環させる装置)』を配備し、本年も6月2日から装置4基を稼働させています。
6月中旬以降の気温が平年に比べ高く、これに起因してアオコが発生しやすい条件である貯水池表面に近い水深で高い水温が続いたため7月13日に今年初めて「アオコ」の発生が貯水池の一部で局所的に確認されました。
このため、貯水池監視の取り組みを強化するほか、『水質保全装置』においては7月14日からアオコの増殖抑制を重視した循環効果を高める稼働を開始して、引き続き水質保全に努めて参ります。

■水質保全装置の運用計画

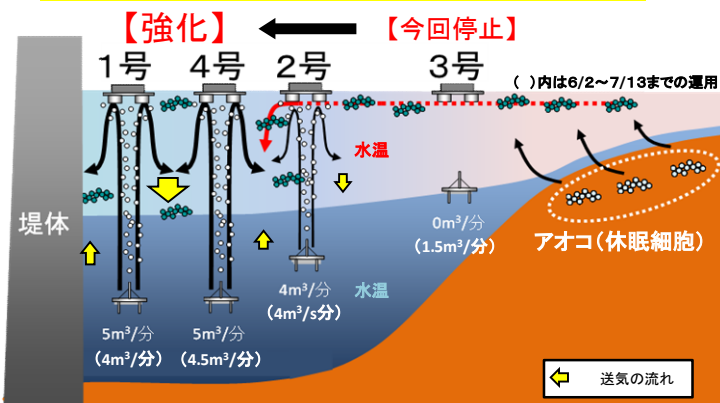
1. 運転期間: 令和7年6月2日(月)～10月31日(金)【予定】
2. 運転方法: 7月14日から装置3基に送気量を集中させ、**循環効果を高める稼働**を開始
3. 監視体制: 巡視頻度や水質調査など監視体制を強化

項目	6月2日～	7月14日～	主な内容
ダム湖巡視	2回/月	2回/週	目視、フィルターによる確認
水質自動監視	常時	常時	水温、pHなど
定期水質調査	1回/月	1回/月	pH、植物プランクトンなど
臨時水質調査	—	2回程度	発生直後、14日後を目安に実施予定 pH、植物プランクトンなど



【アオコ増殖抑制を重視※した水質保全装置の稼働(7/14～)】
※水深が深い場所の装置の稼働を強化

⇒3号停止分の送気を1、4号へ集中させ循環効果を促進



※: 深層から空気を送り、水温の低い下層と水温の高い上層を循環させ、「アオコ」の発生や増殖などを抑制します。

＜発表記者会: 岩手県政記者クラブ、花巻記者クラブ＞

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所
〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地

副所長 猪俣 公弘 (内線 205)

管理第一課長 加藤 一典 (内線 331)
(代表TEL:019-643-7831)

北上川ダム統合管理事務所 田瀬ダム管理支所
〒028-0123 岩手県花巻市東和町田瀬39-1-3

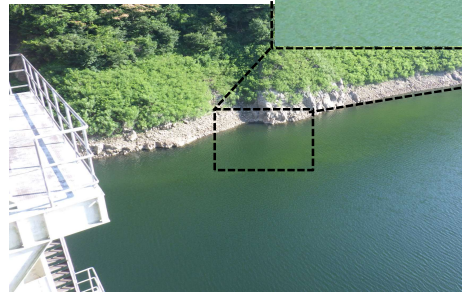
支所長 千葉 孝寿 (内線 6221)
(代表TEL:0198-44-5211)

【参考】

～「アオコ」とは～

藍藻類のミクロキスティスやアナベナ等が異常増殖し水面を覆い、青い粉を蒔いたように見える現象。

写真: 田瀬ダム湖における「アオコ」の発生状況



① 令和5年11月頃撮影(ダムサイト付近)
※参考:「アオコ」が大規模に発生した状況

② 令和7年7月13日撮影(ダムサイト付近)
※「アオコ」の発生を貯水池の一部で局所的に確認

